

第2回茅渚関西連合・武庫川/神戸エリア打合せ議事録

1.日時 平成25年6月23日 PM7:00～8:40

2.場所 ロイヤルホスト芦屋店(芦屋市)

3.出席者・関連 倉田・黒鯛人 長田、宮本・フリーナイン 酒井、笠井
・10-CLUB 渡辺他1名・大釣協 酒井 落茅奴者 岡山

4.内容 以下の通り

①『神戸港チヌ放流事業実行委員会』の設立、事業概要説明

②資金確保について

- ・「水産多面的機能発揮対策」からの資金援助について(大釣協 酒井氏説明)
国の予算を利用する場合協議会の組成や資金管理、事業計画等の制限があり当初の事業実施の趣旨と反する事もある。
色々な制約があり手続きが複雑等により第1回会合の通り
独自で資金集めを実施し、小規模からでも放流事業を実施するとの
意見で一致した。大釣協からの支援も今後の検討課題として保留。
- ・釣文化の醸成にて釣り教室を開き日当等を資金とする方法もあるが
計画の策定が必要になる。
- ・前回の打合せ通り、各渡船業者や釣り大会での募金活動を主軸として
資金の確保を行う。

③放流するチヌの確保について

- ・例年、大釣協、日釣振チヌ放流事業を行っており、集まった金額に
合わせてオーダーを依頼する。2月頃に前もって依頼する必要がある。
同様8月に放流を行っており、同時期に行えば、チヌの移動や放流に
ついて効率的に実施できる。(船の手配等大釣協の酒井氏の協力を得た)

④当面の活動

- ・実施時期は来年でありとりあえず募金集めを行い、集金状況により確保する
稚魚の数を上記時期までに決めるようにする。
- ・阪神渡船業組合への依頼はまだであり、宮本組合長に依頼を行う。
他の主な渡船業者には募金箱を設置済み。
- ・関連主催の前打ち大会では募金活動を既に実施済みで、次に開催予定の
本大会では参加費の一部100円を基金として徴収する事を決定。
- ・BAA等にも協力依頼を行い活性化を図る。

⑤今後の方向性

- ・放流実施時期は大阪湾の稚魚放流と同一にすればコスト削減となる
時期については8月下旬。
- ・枚数の決定時期は2.3月に決める必要がある。
- ・購入時期によりチヌの単価30円～70円程度になる為、上記日程までが
ベターとの事。
- ・資金集めを継続として行き、集金状況により次回アクションを行う。
今年末程度を目途に再度検討を行う。

以上